



マチカラ

地まちのチカラ
名古屋都市センター調査課支援班

まちは、人だ。

建物や道路といったかたちだけでできているわけではありません。誰かの思いや行動が重

なり合って、少しずつ育っていく場所です。ひとつとして同じ地域はなく、それぞれに歩みがあり、独自の色があります。その中で生まれるのは、出会いとつながり、そして挑戦。まちの可能性は無限です。30年以上前に設立された「名古屋都市センター」は、まちづくりをずっと応援し、ともに歩んできました。その中で、調査課支援班は地域まちづくりの活動を後押ししています。今、新しい時代の交流拠点として、“まちから”生まれるチカラを信じ、地域とともに未来を育てていきます。



“地域まちづくり”って、何ですか？

地域資源や地域特性を活かした特色のある魅力的なまちへ。

「地域の力(考え)で地域を育てる」

名古屋の人の思いとアクションをつなげていきます。



名古屋都市センターって、何ですか？

名古屋のまちづくりに寄与することを目的とし、1991年7月に復興記念「財団法人名古屋都市センター」として設立されました。まちづくりの交流拠点として、「調査・研究」「情報収集・提供」「人材育成・交流」を3本柱として事業を展開。支援班は「人材育成・交流」を担当しています。

まちは、人だ。
誰かの姿が、
誰かを動かす力になる。

地域まちづくりについて、教えてください。

住民・自治会・NPO・商店街・企業などまちに関わる人たちが、地域をより良くするために、まちの魅力づくりや公共的な空間の利活用を行ったり、まちのルールづくりに取り組んだりする活動のことです。



何ができるの？ どんなサポートがあるの？

支援班では、まちづくりに関する相談受付、助成制度の運用や、まちづくり活動を担う人材の育成・交流を目的とした講座・企画などを実施しています。



取り組みの中で大切にしていることは？

支援班は、名古屋のまちづくりのプラットフォームとして、まちづくりに興味がある方々の交流拠点となり、柔軟に縦・横のつながりを作る存在でありたいと思っています。



私も利用できますか？ 活動の相談をしたいです。

まずは「名古屋都市センター」の調査課支援班あてにお問い合わせください。

どんな人たちが利用しているの？

主に、名古屋市内でまちづくりをするみなさんが利用しています。



名古屋都市センター

名古屋市中区金山町 1-1-1 金山南ビル内
問い合わせ／TEL 052-678-2214
休館日／月曜・年末年始
JR・名鉄・地下鉄「金山」駅南口すぐ

支援班は
13階にいます



マチカラ・レポ

ささしま暮らしのお寺市実行委員会

活動地域 中村区・下米野町周辺／Instagram @enpukuji_asaichi

まちを知ろう！「なごや歴まちびと」と巡るガイドツアー②米野城跡編
10/17 (金) 11:00～14:00



「ミニささしま暮らしのお寺市」開催同日に、下米野町在住の「なごや歴まちびと」寛清澄氏をガイドにまちを巡るランチ付きツアーを実施しました。見学地のひとつの米野城跡（現・長松寺）は、織田家督争いでもある稲生合戦に関わりのある場所。いつもの生活の隣に2026年の大河ドラマゆかりの地があると知り、自分たちが暮らす「まち」への興味と関心が深まる貴重な体験になりました。



内田橋とつげき見守り隊

活動地域 南区・明治学区、内田橋周辺／Instagram @dabayoung_

服出店・ルックブック配布@たゆたうマーケット
10/12 (日) 10:00～18:00



名古屋市南区の明治学区のコミュニティセンターなどにお邪魔して仲良くなったおじちゃんおばーちゃんのお宅に突撃！お洋服をいただく代わりに何かお困りごとを解決したりお手伝いをします。タンスの奥底に眠っている素敵なお洋服を厳選し、そのお洋服をヤング洋品店のセンスでコーディネートして、イベントに出店して販売しています！つながりを大切にしながら楽しく活動できればと思っています。



マチゾラシンサカエマチ

活動地域 東区・新栄町エリア／Instagram @machizora_shinsakae

マチゾラ横丁

8/8 (金) 18:30～21:00



名古屋市中区新栄町エリアを拠点に活動を行っています。新栄町は多様な人が訪れ、暮らすまちである一方、まちなかには滞在・交流できる場所が少ないことを課題と認識しています。そこで、私たちは、新栄町エリアの公共的空間である“まちの空地”を活用し、まちに訪れる人や暮らす人が、滞在・交流、そして近隣エリアとも連携して回遊できるような新たな居場所づくりに挑戦しています。



MACHIKOYA守山大森

活動地域 守山区・大森中学校区／Instagram @machikoya_omori

まち歩き

7/6 (日) 8:30～11:30



名鉄瀬戸線（せとでん）の大森金城学院前駅直結型サードプレイス「MACHIKOYA」出発。暑くなる前に！というこで、7月初旬にまち歩きをしました。既に35℃を超える猛暑の8時半スタート。暑い中ですが、やはり徒歩の目線や速度でないと見えないまちの表情に出会いました。8月のインタビュー調査では、浮上した仮説の解像度を上げ、未来のビジョンづくりに、一歩前進していく感覚があります。みんなのでつろう、みんなのまちづくりを実現させていきます！



こどあそ

活動地域 東区・筒井町周辺／Instagram@kodoaso_market

こどあそマーケット

9/20 (土) 11:00～14:00



名古屋市東区の建中寺公園にて「こどあそマーケット（KODOMO to ASOBERU market）」を実施しました。アートセラピストによる大布への絵画体験や、絵本士による読み聞かせ、土を使った種まき体験などを行い、子どもたちの主体的な参加と多世代交流を促進しました。雨天にもかかわらず、大型テントの設置により安全に運営でき、地域住民の約400名が来場。子ども50名が体験に参加し、地域に開かれた交流の場を実現しました。

名東プレーパークの会

活動地域 名東区内／Instagram @meito.playpark

プレーパーク

7/13 (日) 10:00～15:00



子どもが「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大切に、東山オアシスの森（藤巻・山香の森）を中心に名古屋市名東区内でプレーパークを開催しています。遊びは子どもにとって生きることそのものです。子どもは自然環境の中でたっぷりと遊び、五感を使ってさまざまなことに興味を持ち、いろいろな人と関わりを作り、自分のやり方や自分のペースで創意工夫をし、挑戦・失敗し、それをのりこえて成長していきます。

鶴舞・千種エリアマネジメント協議会

活動地域 昭和区千種区中區・千石学区、鶴舞公園周辺／Instagram@tsurumaichikusa

ミズマツリ

8/2 (土) 11:00～21:00



千種アーススクエアからSTATION Aiまでを対象に、大学・地域団体・企業が参画し、まちづくりビジョンを更新しながらエリアマネジメントに取り組んでいます。国土交通省のまちなかウォークラブルに基づき、居心地の良い公共空間創出に向け、社会実験を実施。地元盆踊りの「ミズマツリ」と連携した大型企画に加え、地域イベントや勉強会を重ね、持続的に広域的なまちづくりを推進しています。今年度はミズマツリを高架下まで拡大し、多世代交流を促しました。

結-MUSUBI-

活動地域 守山区・志段味／Instagram@musubi.2025

結び地域マップ作成打ち合わせ

10/14 (火) 10:00～12:00



名古屋市守山区志段味にある空き家再生がきっかけとなりメンバーが集まりました。主な活動内容は、この地域により、温かさや豊かさが巡るよう、「結び地域マップ」の作成です。お店、サロン、コミュニティ、場所の大切に行っている思いや魅力を丁寧に紡ぎ、町と人の縁を描きたい。「思い」でつながる出会いや交流のきっかけとなるよう、この地域を愛する皆さんとともに温かい「結び」を広げていけたら嬉しいです。

かさでら図書館運営委員会！

活動地域 南区・笠寺町周辺／Instagram @kasadera.library

子どもたちの未来を紡ぐ図書館の話 松居友さん講演会

10/4 (土) 13:30～15:30



フィリピン・ミンダナオ島で「ミンダナオ子ども図書館」を設立した代表の松居友さん講演会を開催しました。家でも学校でもない「巷（ちまた）」が子どもたちを育てる、というお話がとても印象的でした。かさでら図書館の活動とも重なり、とても励みになりました。終演後多くの参加者さんから「良いお話を聞きました」とご感想をいただき、講師の松居さんほか関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

星崎学区連絡協議会

活動地域 南区・星崎学区一円／Facebook 星崎学区連絡協議会（名古屋市南区）

ほしざきぼうさいフェスティバル

10/19 (日) 9:00～12:00



「ほしざきぼうさいフェスティバル」を開催しました。2回目となる今年は、8つのブースを回って、楽しみながら防災を学ぶかたちで行いました。フェスティバルは学区に居住するすべての方が参加でき、防災をキーワードに、希薄になりがちな地域のつながりを再び活性化させることを目指して行っています。地域の皆さんが互いに「顔が見える関係」を構築することで、誰一人取り残さない、助け合いが当たり前のまちをつくっていきたく考えています。

EVENT

受講生募集！

令和7年度 まちづくりびと講座

まちづくりを続けていくには、思いだけでなく、活動を支えるお金と仕組みが欠かせません。この講座では、まちが続いていくための工夫や、その活動が自立する方法を考えます。講師は、堀江浩彰さん。ゲストは、堀江さんの同級生、まちづくりは先輩の古橋敬一さんを迎え、会場のみなさんと一緒に考えていきます。

第3回「続けるための仕事術と、まちへの還元と一緒に考える」
日時／1月10日(土) 14:00～16:00
場所／名古屋都市センター 11階ホール
参加／無料
定員／50名
申し込みは二次元コードから
※第1・2回は終了



地まちチャレンジインタビュー

58人目

堀江浩彰さん

「ホリエビル」オーナー。この場所で、書店・カフェ・フリーペーパー専門店などを経営している。2024年に名古屋駅西のまちづくりに関わる会社「Too Much Inc.」を設立。
Instagram @horieblgd



まちづくりを
“自分ごと”として

名古屋駅西にある「ホリエビル」。堀江さんは、祖父が建てた父が所有していたこのビルを、相続ではなく購入しました。まちづくりを「自分ごと」として考えるようになったのは、リニア中央新幹線の開業に向けた名古屋駅西の開発で、当たり前だった景色が変わってきたから。「この小さなタイトルのビルを「まちのしおり」としてここに残したい」。そんな強い思いが芽生えた堀江さん。20年後、好きなまちがどこにでもある「街」になってしまわないよう、なんとかできないか。考えついたのは「だったら、よそから何を言われても無視できない存在に、自分たちが

なればい！」そんな思いで始めたまちづくり。活動を通して、自分たちのまち「駅西」に資金を還元する仕組み作りに挑戦中です。その堀江さんを講師にお迎えする「まちづくりびと講座」。これからまちづくりを始める方に向けて、堀江さんはこう語ります。「別のまちのやり方の再現はできません。まちの舞台はそれぞれ。自分のまちでできることを探し、作っていく。そして、その一歩を踏み出した人が活動を継続するためのマネタイズの仕組みを、上からではなく一緒に考えていく機会になれば！」思いを実践につなぐ堀江さんの姿勢に、これからのまちづくりのヒントがあります。



リニューアルした広報紙のアンケートにご協力ください。